

「THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2027」実施計画策定支援及び運営委託
審査基準

「THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2027」実施計画策定支援及び運営委託 委託先選定委員会設置要綱（以下「設置要綱」という。）第7条第2項に基づく GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会（以下「実行委員会」という。）が発注する「THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2027」実施計画策定支援及び運営委託（以下「本委託業務」という。）に係る審査基準については、次のとおりとする。

1 審査機関

- (1) 本委託業務の企画提案書に関する審査については、「THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2027」実施計画策定支援及び運営委託 委託先選定委員会（以下「委託先選定委員会」という。）において実施する。
- (2) 委託先選定委員会は、希望申請者が仕様書に記載している受託要件を満たしているかを判断した上で、以下に基づき企画提案書の内容について評価を行い、採用候補者を決定する。

2 採用候補者の選定方法

(1) 採用候補者の決定方法

採用候補者を決定する委託先選定委員会に出席し当該決議に対する議決権を有する全委員が各評価項目を採点による評価を行い、各委員の採点を合計し、採点した委員の数で割ったものを評価点とする。受託要件を満たし、かつ評価点が採用最低基準を満たした希望申請者のうち評価点が最も高い者（以下、「最高得点者」という。）を設置要綱第6条各項に基づき採用候補者に決定する。

なお、評価点は、小数点以下第一位までを有効とし、小数点以下第二位を四捨五入するものとし、評価点の最高得点者が2者以上あるときは、当該の者にくじを引かせて、当選した者を最高得点者とみなす。この場合において、出席しない者又はくじを引かない者があるときは、審査事務に関係ない実行委員会事務局職員にくじを引かせることとする。

(2) 評価項目及び配点

評価は300点を満点とし、評価項目及び配点は表1のとおりとする。

(3) 採用最低基準

評価点が120点以上であること。

表1 企画提案書の審査、評価項目及び配点に係る点数配分表

評価項目	配点
I 全体計画	40
II 自転車競技大会実施計画	130
III 当日イベント運営計画	20
IV イベント運営計画（大会前日イベント及び気運醸成イベント）	20
V 広報計画	80
VI その他の計画	10
合計	300

3 評価の方法

(1) 評価は、企画提案書によって行う。

なお、以下に該当する企画提案書については無効とし審査から除外する。

ア 提出が必須とされた資料について未提出の場合

イ 提出された資料及び様式の内容に虚偽及び捏造が確認された場合

(2) 各評価項目を採点するに当たって考慮すべき観点は、別紙「審査基準における評価の観点」のとおりとする。

評価は1から5までの5段階とする。詳細は表2のとおりとする。

なお、一部項目は1から3までの3段階とし、詳細は表3のとおりとする。

表2 5段階評価項目

評価		採点
段階	内容	
5	傑出して非常に優れている提案	分類別配点 × 1.0
4	特に優れている提案	分類別配点 × 0.8
3	優れている提案	分類別配点 × 0.6
2	やや優れている提案	分類別配点 × 0.4
1	必要事項の記載のみ	分類別配点 × 0.2

表3 3段階評価項目

評価		採点
段階	内容	
5	要求事項に対し特に優れている提案	分類別配点 × 1.0
3	要求事項を満たした提案	分類別配点 × 0.5
1	要求事項を満たしていない提案	分類別配点 × 0.0

「THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2027」実施計画策定支援及び運営委託
 審査基準における評価の観点

	評価項目及び考慮すべき観点	配点
I 全体計画	<p>【大会の位置づけ】 ・第1回、第2回大会の実績を振り返りながら、他の自転車競技大会等と比較して本大会が優れている点、足りない点を検証するとともに、必要に応じて他の国際大会等における先駆事例等から本大会が取り入れるべき事項等を抽出して、今回の大会に活かすコンセプト等が提案されているか。</p> <p>【組織体制】 ・本事業の実施に当たり、計画・調達・実施の各段階で十分な業務体制・人員体制が確保されているか。また、統括業務責任者及び各業務責任者は適切に配置されているか。 ・スポーツイベントの開催実績・運営及び交通規制等を実施した経験を有しているか。</p> <p>【準備スケジュール(業務実施工程)】 ・契約から完了までのスケジュールについて、それぞれの業務内容に応じた適切かつ具体的なスケジュールが提案され、確実に進行管理し十分に実現可能なものとなっているか。</p> <p><経費関連> ・提案がオーバースペックではなく、提案内容と費用とのバランスがあり、必要な経費が過剰に圧縮されていないか。また、費用対効果の高い提案となっており、期待される効果がわかりやすく説明されているか。</p>	40
II 自転車競技大会実施計画	<p>【競技運営計画】 <競技運営> ・自転車ロードレースに高い知見やノウハウを有する国内競技団体等との連携・調整、競技審判等の運営スタッフ等の人員体制の構築、競技備品・車両等の手配、開催時期を考慮した選手等へのケアなど、確実なレース実施に向けた、具体的かつ実現可能性のある提案であるか。</p> <p><選手招聘・インセンティブ> ・国際大会(クラス1想定)に応じた、招待が義務となるチームを正しく認識した上で、大会に見合ったワールドチーム等の強豪チームの招聘計画が提案されているか。 ・レースの活性化につながる特別賞が提案されているか。特別賞設定に当たっては、レースの面白さを増幅させるとともに、運営への支障がなく観客の安全面も考慮された計画となっているか。</p> <p>【スタート・フィニッシュ会場運営計画】 ・スタート・フィニッシュ会場運営計画について、必要な設置物、諸室、安全管理、各種許認可のスケジュール等が網羅された具体的な提案があるか。</p>	130

	<p>【スタートセレモニー・表彰式計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客効果が十分に期待できる演出、出演者、プログラム、発走合図員・表彰プレゼンター等が提案されているか。 ・集客につながり、メディアにとってニュースバリューが高いスタートセレモニー及び表彰式の提案がされているか。 <p>【コース運営全体計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース運営について、交通規制や安全対策などの考え方や方針を示した上で、選手・スタッフ・ボランティア・競技役員・観客・地域住民等の安全確保やコース上の監視が可能な計画となっているか。必要な調整先を整理した上で調整スケジュールが計画されているか。 ・前回大会の検証を行い、さらなる安全対策の提案があるか。 <p>【交通規制実施計画】</p> <p>【人員・資機材の設置・撤去計画(安全対策計画)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通規制の実施について、推奨回路の設定等、地域への影響を考慮した上で、規制範囲や規制時間が最小化された提案であるか。 ・歩行者横断ポイントや緊急車両横断ポイントが想定されているか。 ・想定される地域や沿道事業者、住民、道路利用者への影響について考慮した、新たな運営方法や安全対策などが提案されているか。 ・人員等の確保に際して、日程競合する他の大規模イベント等の有無確認ができているか。また競合イベント等がある場合は、その対策があるか。 <p>【警備計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会の警備に必要な人員を適切に配置し、大会全体の安全が確保できる計画となっているか。 ・人員等の確保に際して、日程競合する他の大規模イベント等の有無確認ができているか。また競合イベント等がある場合は、その対策があるか。 ・配置する人員に対し、交通規制中の迂回路案内等の大会固有業務の教育が計画されているか。 <p>【ボランティア計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア問合せ窓口の設置及びボランティアの募集から研修、活動までのスケジュールが適切に計画されているか。 ・ボランティア参加者の知見や技能等が発揮できる多様なボランティア活動の提案があるか。 	
<p>Ⅲ 当日イベント運営計画</p>	<p>【共通事項】・誰もがロードレースの魅力を感じ、自転車に親しみがもてるような企画が提案されているか。多様な観客ニーズに対応する提案はあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩地域の魅力発信、地域振興及びパラサイクリングの魅力発信につながる工夫があるか。 	<p>20</p>

<p>IV イベント運営計画 (大会前日イベント及び気運醸成イベント)</p>	<p>【大会前日イベント運営計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会開催の直前であることを踏まえ、自転車競技大会への期待が高まるようなプログラムが提案されているか。 ・多摩地域の盛り上がりをはじめ、子供など様々な層の方々が楽しめる東京 2020 大会レガシーを活用した内容の提案があるか。 	<p>20</p>
<p>V 広報計画</p>	<p>【大会開催広報計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会開催気運が大会当日に最高潮となるよう戦略的な広報計画が提案されているか。また、大会広報として、SNS の活用をはじめ、多様な広報手段を活用した効果的な提案があるか。 <p><放送・配信関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力的なレース映像の制作及び国内外問わず多くのファンが視聴でき、レースの魅力を最大限伝えることができる効果的な媒体やコンテンツについての提案がされているか。 ・実況方法について、さまざまな属性の視聴者にもわかりやすい工夫があるか。 ・コースの沿道となる多摩地域の魅力発信や地域振興につながるコンテンツや工夫が提案されているか。 <p>【交通規制広報計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通規制に対する地元関係者等(地域住民、事業者、教育機関、官公庁等)等からの理解や協力を最大限得るためのツール・媒体、対象範囲、実施時期などが具体的かつ効果的に提案されているか。 <p>【ブランディング・協賛獲得計画】</p> <p><大会ビジョンの提案・ブランディング計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・GRAND CYCLE TOKYO の趣旨を踏まえた大会ビジョンと合わせて、第3回大会から概ね第5回大会までを見据えたブランディング計画が提案されているか。 ・提案された計画は、実現可能で効果的な提案となっているか。 <p><第3回大会協賛獲得計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協賛金等の目標獲得金額の設定に合わせて、具体的な協賛獲得計画が提案されているか。 ・積極的な地元企業の獲得や協賛価値向上のための取組や協賛を募りやすい仕組みづくりについて柔軟かつ効果的な提案がなされているか。 	<p>80</p>
<p>VI その他の計画</p>	<p>【救護医療計画、荒天時・緊急時対応計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救護医療計画及び荒天時・緊急時対応計画は、開催時期や開催地域を考慮した緊急時が想定され適切な対応策及び体制が提案されているか。 ・開催場所やイベント日程を踏まえ、野生鳥獣の出没、気温、天候等を考慮した対策が計画されているか。 	<p>10</p>
<p>合計</p>		<p>300</p>